学校番号	3035

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『世界史探究』（実教出版）						
副教材等	『最新世界史図説タペストリー 二十三訂版』　（帝国書院） 『新世界史研究ノート 応用編』（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象に「なぜ」の視点を持とう。
・世界史を大きな枠組みで捉え、各地域を比較しよう
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の世界や日本の在り方を考えよう。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して　多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想を効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。 諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、問いを表現したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	世界史へのまなざし	・地球環境からみる人類の歴史 ・日常生活から見る世界の歴史	a:人類が地球環境に適応しながら文化や文明を生み出していったことを理解している。 b:家族形態や感染症など、日常生活と歴史の関係について表現している。 c:身近な環境と歴史の関係を主体的に追究しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論 ・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論 ・発表等 振り返りシート

	諸地域の歴史的特質の形成	・古代文明の歴史的特質 ・東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質 ・南アジアと東南アジアの歴史的特質 ・西アジアと地中海周辺の歴史的特質	a:アジア・ヨーロッパ・アフリカなど各地域の歴史的特質とその形成を理解すると共に、諸資料から各地域の歴史的特質に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 b: アジア・ヨーロッパ・アフリカなど各地域の歴史的特質とその形成に関連して設定された主題について、相互の関連・結びつき、類似点、相違点や現在とのつながりに着目しつつ、問いを表現したり、概念を用いたりして多角的に考察し説明・議論している。 c: アジア・ヨーロッパ・アフリカなど各地域の歴史的特質とその形成について、大きな枠組みを意識しながら主体的に追究しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論 ・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論 ・発表等 振り返りシート

後期	諸地域の交流と再編	・イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容 ・中央ユーラシアと諸地域の交流・再編 ・大交易時代 ・アジア諸地域の帝国 ・近世ヨーロッパの形成と展開	a:イスラーム圏の拡大、ヨーロッパ社会の変容、中央ユーラシアの交流と再編、大交易時代、アジア諸地域の帝国、近世ヨーロッパの成立と展開について理解すると共に、諸資料から諸地域の交流と再編に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 b:イスラーム圏の拡大、ヨーロッパ社会の変容、中央ユーラシアの交流と再編、大交易時代、アジア諸地域の帝国、近世ヨーロッパの成立と展開に関連して設定された主題について、相互の関連、類似点、相違点や現在とのつながりに着目しつつ、問いを表現したり、概念を用いたりして多角的に考察し説明・議論している。 c:イスラーム圏の拡大、ヨーロッパ社会の変容、中央ユーラシアの交流と再編、大交易時代、アジア諸地域の帝国、近世ヨーロッパの成立と展開について、大きな枠組みを意識しながら主体的に追究しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論 ・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論 ・発表等 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度